



園だより

文京区立第一幼稚園
令和3年度 10月号

URL <http://www.bunkyo-kyo.ed.jp/dai1-kg/>

やってみよう のびやかに

副園長 和島千佳子

晴天のある日、3歳児あか組は皆で屋上に行きました。階段を上って行って到着すると視界が開け、思わず駆け出したくなります。私も一緒にひとしきり走り、ひと休みしようと座って見上げた視線の先には、青い空が広がっていました。「空まで届くかな」とジャンプしたり、子供たちと一緒に広いね」「雲があるよ」などと話したりしながら、とても気持ちのよいひとときを過ごしました。

4歳児もも組・き組には、この頃知らぬ間にどこからか手紙が届いているようです。その手紙に誘われて、いろいろなことに挑戦しています。その一つが「かっこいいポーズ」です。楽しみながらも真剣な様子で繰り返すうち、どんどんかっこよくきまるようになっていきます。

5歳児むらさき組・みどり組は、海のイメージで魚や海賊などになって動くことを楽しんでいきます。また、リレーで早く走りたい、勝ちたいという思いをもち、どうしたらいいのか友達と一緒に考え、走り方を試しています。そして、綱とりでは、とりたい綱のところに走り、力を合わせてひっぱっています。

友達や先生と一緒に、想像の世界で遊びながら元気に体を動かす姿、こんなふうにやってみたい！と繰り返しチャレンジする姿、弾むような音楽に合わせて生き生きとした動きや表情で踊る姿などが、園のあちこちで見られます。

掲示板前のアサガオが、季節の移り変わりを惜しむかのように花を咲かせています。以前、種まきのことを紹介した6月には、やっと小さな芽が出たばかりでしたが、今ではつるをぐんぐん伸ばしました。のびやかに野性味のある勢いや、よく見ると一つ一つ個性のある花の様子が、子供たちの成長の姿と重なります。

私は、幼い日に祖母から「失敗は成功のもと」ということわざを教わりました。時を経て今、目の前の子供たちの姿から、“やってみようとする気持ち”や、まず“やってみること”は、成長に大切な心構えや態度なのだ実感しています。子供が安心してやってみることができる環境や周囲の関わり、そして、うまくいかなくても何度でもやってみることが楽しさや喜びにつながる経験を大切にしていきたいと思います。

